

平成29年 上半期
火災・救急統計

松山市消防局

目 次

第1	火災の概況	1
1	火災件数	1
2	火災による損害	1
3	死傷者数	1
4	出火原因別の火災発生状況	2
5	損害額	3
6	近年の火災状況	3
7	地区別火災件数	4
8	住宅用火災警報器の奏功事例	5
第2	救急の概況	6
1	救急出場件数・搬送人員の状況	6
2	医療機関別搬送状況	7
3	事故種別・傷病程度別搬送人員の状況	7
4	応急処置実施状況	8
5	地区別救急発生状況	9

火

災

第1 火災の概況

松山市における平成29年上半期（1月～6月）の火災概況は、火災件数82件、損害額3,651万1千円、死者4人、負傷者19人となっています。

1 火災件数

平成29年上半期（1月～6月）における出火件数は82件で、前年同期（62件）と比べて20件増加しています。

（▲は減少）

		平成29年	平成28年	前年同期比
総火災件数		82	62	20
種別	建物火災 (住宅火災)	48 (28)	49 (35)	▲1 ▲(7)
	車両火災	7	3	4
	林野火災	1	0	1
	船舶火災	0	0	0
	航空機火災	0	0	0
	その他の火災	26	10	16

※その他の火災とは、田畑や河川敷の枯草、屋外に放置された物件等が燃えた火災をいいます。

2 火災による損害

平成29年上半期（1月～6月）における火災による損害額は3,651万1千円で、その損害状況は次表のとおりです。

（▲は減少）

	平成29年	平成28年	前年同期比
焼損棟数	63	74	▲11
り災世帯数	49	50	▲1
建物焼損床面積 (㎡)	1,012	1,251	▲239
建物焼損表面積 (㎡)	341	350	▲9
林野焼損面積 (a)	1	0	1
損害額 (千円)	36,511	68,724	▲32,213

3 死傷者数

平成29年上半期（1月～6月）における火災による死者は4人で、前年同期（5人）と比べて1人減少しています。また、火災による負傷者は19人で、前年同期（12人）と比べて7人増加しています。

（▲は減少）

	平成29年	平成28年	前年同期比
死者	4	5	▲1
負傷者	19	12	7

4 出火原因別の火災発生状況

平成29年上半年(1月～6月)における火災82件を出火原因別にみますと、「たばこ」が13件(15.9%)、「たき火」が13件(15.9%)、「こんろ」が11件(13.4%)の順となっています。

また、「放火火災」は10件で全体の12.2%を占めています。

※「放火火災」とは、出火原因が「放火」及び「放火の疑い」の火災のことをいいます。

(▲は減少)

	平成29年	平成28年	前年同期比
たばこ	13	11	2
たき火	13	2	11
こんろ	11	10	1
放火	5	6	▲1
放火の疑い	5	4	1
火あそび	4	1	3
ストーブ	2	1	1
電灯・電話等の配線	2	1	1
配線器具	2	0	2
排気管	1	2	▲1
風呂かまど	1	1	0
灯火	1	1	0
焼却炉	1	0	1
内燃機関	1	0	1
マッチ・ライター	1	0	1
煙突・煙道	0	2	▲2
こたつ	0	1	▲1
電気機器	0	1	▲1
取灰	0	1	▲1
その他	7	12	▲5
不明・調査中	12	5	7
合計	82	62	20

5 損害額

平成29年上半期（1月～6月）における火災による損害額は3,651万1千円で、前年同期（6,872万4千円）と比べて3,221万3千円減少しています。

（▲は減少）

	平成29年 (千円)	平成28年 (千円)	前年同期比 (千円)
損害額	36,511	68,724	▲ 32,213
建物	29,825	67,716	▲ 37,891
車両	6,189	625	5,564
船舶	0	0	0
林野	0	0	0
航空機	0	0	0
その他	432	383	49
爆発	65	0	65

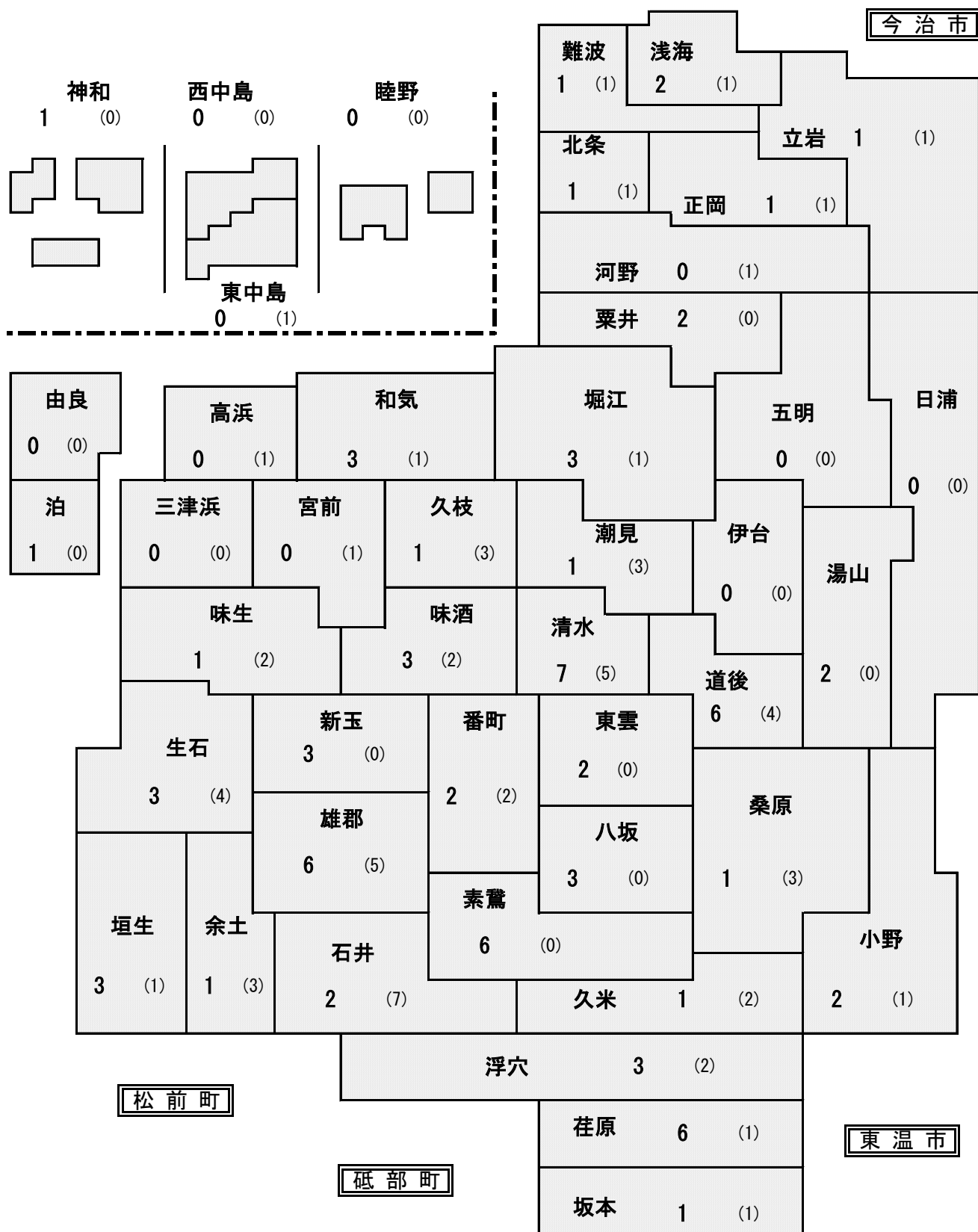
6 近年の火災状況

近年の上半期（1月～6月）における火災状況は次表のとおりです。

	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平均
火災件数 (件)	82	62	66	93	80	76.6
焼損棟数 (棟)	63	74	76	102	67	76.4
死者 (人)	4	5	3	7	7	5.2
負傷者 (人)	19	12	10	35	21	19.4
り災世帯数 (世帯)	49	50	50	81	45	55.0
り災人員 (人)	80	110	115	182	92	115.8
損害額 (千円)	36,511	68,724	111,652	111,814	84,246	82,589

7 地区別火災件数

() 内は前年同期の火災件数



8 住宅用火災警報器の奏功事例（平成29年上半期）

【事例1】 共同住宅（アパート・マンション）

早朝、マンション内の近隣住民が住宅用火災警報器の警報音が鳴っていることに気が付いたもの。すぐに呼び鈴を鳴らしたり、ドアをたたいたりしたものの警報音以外に異状がなかったため、一度自室に戻るも、警報音が鳴り続けていたことが気になり、再度様子を見に行った時に発煙・爆発音を確認し、すぐに119番通報したもの。

居住者は、不在であった。

※ 住宅用火災警報器の警報音は、居住者に限らず、近隣の方が気付くこともあります。また、異状が続く限り、警報音を鳴らし続けます。

【事例2】 長屋住宅（メゾネット2階建て）

メンテナンスに訪問した業者が、住宅用火災警報器の警報音と煙に気付き、すぐに呼び鈴を鳴らしたり、玄関を開けようとしたものの返事がないため、119番通報したもの。

また、通報後はその場に居合わせた方と協力し、付近住民への声掛けを行い、早急な避難誘導を行っています。

居住者は、不在であった。

※ 住宅用火災警報器によって、居住者だけでなく、近隣の方の早期の避難が可能になります。

住宅用火災警報器は、火災を早期に発見することで、「初期消火」「避難」「119番通報」をいち早く実施することができ、被害の軽減に役立ちます。

日頃から、火気の取り扱いには十分注意し、火災予防を心がけましょう。

住宅用火災警報器の設置場所などの詳しい情報は、松山市ホームページの「住宅用火災警報器」をご参照ください。

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/sbbousai/sbkasaiyobo/juukeiki.html>

救 急

第2 救急の概況

松山市における平成29年上半期（1～6月）の救急出場件数は12,420件、搬送人員は11,528人で、前年と比較し出場件数・搬送人員ともに増加しています。

これは、一日平均68.6件、20分59秒に1回の割合で救急車が出場し、市民約45人に1人の割合で搬送されたこととなります。

1 救急出場件数・搬送人員の状況

事故種別では、急病・一般負傷・交通事故の順となっており、この3種別だけで、出場件数・搬送人員とも全体の約86%を占めています。

(▲は減少)

区分	単位	平成29年	構成比(%)	平成28年	構成比(%)	増減
出場件数	件	12,420	100.0	12,283	100.0	137
内訳	火災	69	0.5	57	0.4	12
	自然	0	0.0	1	0.0	▲1
	水難	12	0.0	5	0.1	7
	交通	1,292	10.8	1,330	11.3	▲38
	労災	60	0.5	67	0.5	▲7
	運動	71	0.5	65	0.6	6
	一般	1,644	13.3	1,630	12.9	14
	加害	56	0.4	55	0.5	1
	自損	135	1.2	150	1.2	▲15
	急病	7,699	62.3	7,647	62.8	52
	転院	1,337	10.1	1,238	9.4	99
	その他	45	0.3	38	0.3	7
搬送件数	件	11,415	-	11,199	-	216
搬送人員	人	11,528	100.0	11,325	100.0	203
内訳	火災	16	0.1	15	0.1	1
	自然	0	0.0	1	0.0	▲1
	水難	6	0.0	2	0.0	4
	交通	1,281	11.8	1,336	11.9	▲55
	労災	56	0.6	65	0.5	▲9
	運動	78	0.6	68	0.7	10
	一般	1,537	13.3	1,501	13.2	36
	加害	48	0.4	50	0.4	▲2
	自損	95	1.0	118	1.0	▲23
	急病	7,090	61.4	6,953	62.2	137
	転院	1,314	10.7	1,209	10.0	105
	その他	7	0.1	7	0.0	0
出場平均(1日)	件	68.6		67.5		
出場間隔		20分59秒		21分20秒		

(注1) 出場平均については、前年比1日あたり1.1件増加しています。

(注2) 出場間隔については、前年比21秒短くなっています。

(注3) 構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

2 医療機関別搬送状況

医療機関への搬送状況は、救急医療機関10,440人(91.0%)、その他の医療機関1,087人(9.0%)、その他の場所1人となっており、救急医療機関へ搬送する割合が多いです。

告示の別等 \ 事故種別等	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
救急医療機関	6,521	1,218	1,460	1,241	10,440
その他の医療機関	569	63	77	378	1,087
その他の場所	0	0	0	1	1
合計	7,090	1,281	1,537	1,620	11,528

(注1) 構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

(注2) 救急医療機関とは、厚生省令により救急告示を受けている医療機関のことである。

3 事故種別・傷病程度別搬送人員の状況

傷病程度別では、死亡166人(1.4%)、重症774人(6.7%)、中等症3,913人(33.9%)、軽症6,673人(57.8%)、その他2人(0.0%)となっており、軽症の占める割合が多いです。

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	合計
死亡	1	0	2	7	0	0	13	0	13	124	6	166
重症	2	0	0	39	7	0	84	0	7	384	251	774
中等症	8	0	2	173	15	16	465	5	33	2,189	1,007	3,913
軽症	5	0	2	1,062	34	62	975	43	42	4,391	57	6,673
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合計	16	0	6	1,281	56	78	1,537	48	95	7,090	1,321	11,528

(注1) 構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

(傷病程度)

死亡 初診時において、死亡が確認されたもの

重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの

軽症 傷病の程度が入院を必要としないもの

その他 搬送したが医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

4 応急処置実施状況

救急隊員が行える救命処置（ラリングアルマスク等による気道確保、気管挿管、除細動、静脈路確保、薬剤投与、血糖測定、エピペン投与、ブドウ糖投与）の件数は340件（前年269件）となっています。

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置	応急処置対象人員	7,062	1,272	1,518	1,605	11,457
	止血	24	37	108	17	186
	固定	43	309	179	55	586
	人工呼吸	14	1	1	3	19
	心マッサージ	7	0	1	6	14
Ⅱ	うち自動	1	0	1	3	5
	心肺蘇生	216	7	27	27	277
Ⅱ	うち自動	25	1	4	5	35
	酸素吸入	1,184	29	74	438	1,725
	気道確保	297	12	34	41	384
Ⅱ	うち経鼻エアウェイ	14	1	1	2	18
Ⅱ	うち喉頭鏡・鉗子等	8	0	8	1	17
救	うちラリングアルマスク等	94	3	7	8	112
救	うち気管挿管	12	1	6	5	24
	保温	214	25	30	70	339
	被覆	44	345	391	67	847
Ⅱ	在宅療法継続	14	0	0	0	14
Ⅱ	ショックパンツ	1	0	0	0	1
Ⅱ	除細動	24	0	1	3	28
	静脈路確保	82	3	12	7	104
救	うち心肺停止前	14	1	1	1	17
	うち心肺停止後	68	2	11	6	87
救	薬剤投与	17	3	2	4	26
Ⅱ	血圧測定	6,662	1,249	1,408	1,502	10,821
Ⅱ	聴診器	1,007	76	103	133	1,319
Ⅱ	血中酸素飽和度の測定	6,825	1,259	1,462	1,560	11,106
Ⅱ	心電図	1,727	35	74	250	2,086
救	血糖測定	36	0	2	0	38
救	エピペン投与	0	0	0	0	0
救	ブドウ糖投与	8	0	0	0	8
	その他	5,837	537	922	1,064	8,360
合計		24,283	3,927	4,831	5,247	38,288
拡大された応急処置等		16,557	2,631	3,091	3,483	25,762
（うち救命処置）		273	10	30	27	340

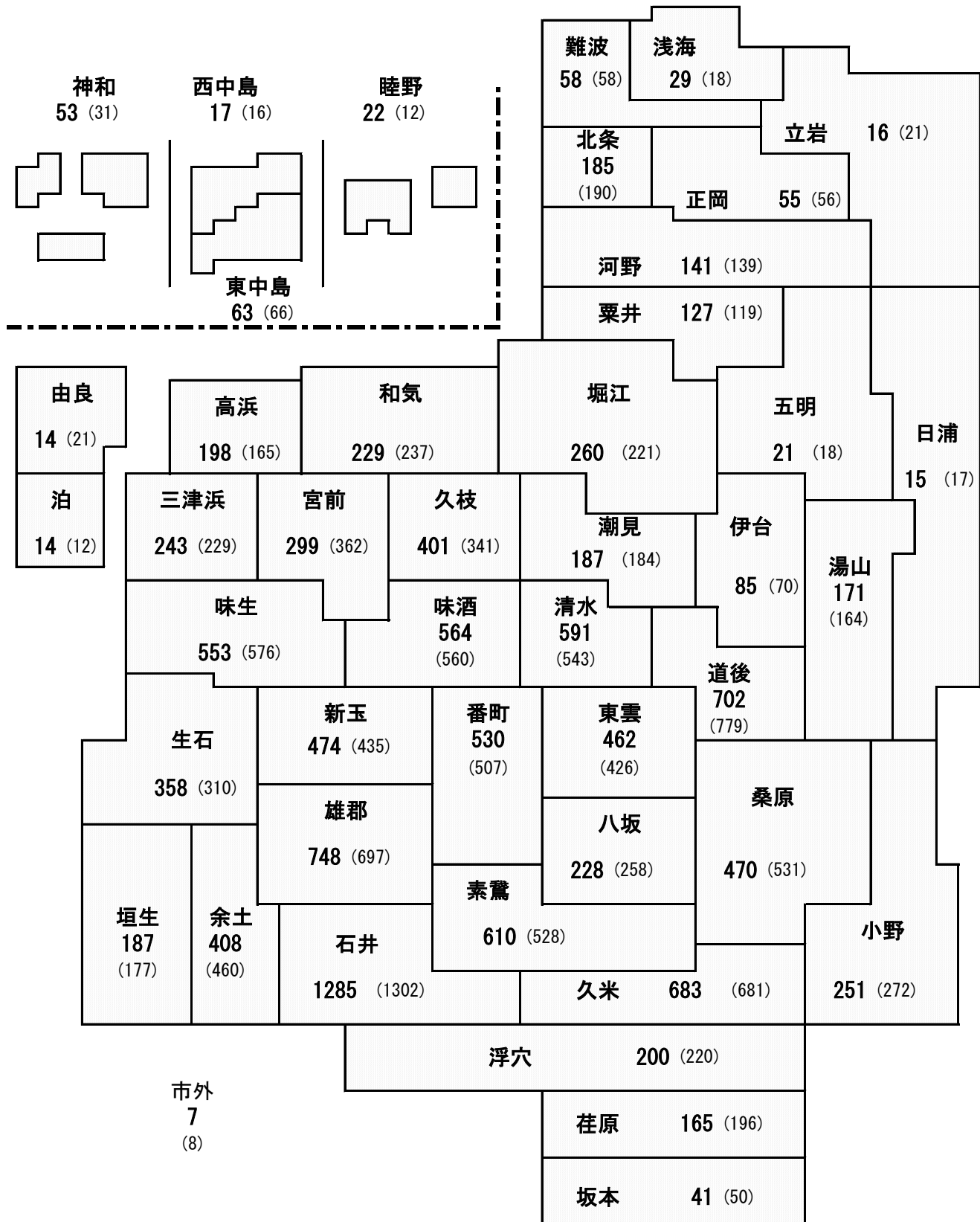
(注1)「Ⅱ」とは、救急Ⅱ課程修了者、標準課程修了者、救急科修了者が実施可能な処置

(注2)「救」とは、救急救命士が医師の指示により実施可能な救命処置

5 地区別救急発生状況

出場件数 12,420件 (前年 12,283件)

() 内は前年同期の発生状況



平成29年 上半期 火災・救急統計

火災統計に関するお問合せは

松山市消防局予防課

TEL: (089)926-9247 FAX: (089)926-9163

E-mail: sbyobou@city.matsuyama.ehime.jp

救急統計に関するお問合せは

松山市消防局警防課

TEL: (089)926-9227 FAX: (089)926-9188

E-mail: sbkeibou@city.matsuyama.ehime.jp

※平成29年上半期火災・救急統計は松山市のホームページにも掲載しています。

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/sbbousai/sbtoukei/toukei.html>